

人間空間デザイン論

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：人間空間デザインの基本的な考え方と、広範なデザインの対象、デザインの手法を理解する。建築・環境デザインおよび地域デザインの事例を通して、人間と建築・環境・地域を考えた空間デザインに係る理念を学ぶとともに、様々なデザイン手法についても理解を深める。授業は人間空間デザインコース全教員のオムニバス方式により行う。
なお、本科目は建築士受験資格の取得に必要とされる指定科目（その他）である。

■**到達目標**：①人間と建築・環境・地域を考えた空間デザインに係る理念が理解できる。
②建築・環境デザインの手法について説明することができる。
③地域デザインの手法について説明することができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎中原 宏・上遠野 敏・羽深 久夫・矢部 和夫・齊藤 雅也・武田 亘明・山田 良・石田 勝也・片山 めぐみ・小宮 加容子・須之内 元洋・金子 晋也

■**授業計画・内容**：

- 第1回 建築・環境デザイン1（建築設計意匠）
- 第2回 建築・環境デザイン2（建築環境デザイン）
- 第3回 建築・環境デザイン3（建築史）
- 第4回 建築・環境デザイン4（建築計画）
- 第5回 建築・環境デザイン5（エコロジーデザイン）
- 第6回 建築・環境デザイン6（環境芸術）
- 第7回 建築・環境デザイン7（都市計画とまちづくり）
- 第8回 地域デザイン1（コミュニティデザイン）
- 第9回 地域デザイン2（風景論）
- 第10回 地域デザイン3（アートとまちづくり）
- 第11回 地域デザイン4（プロジェクト企画デザイン）
- 第12回 地域デザイン5（空間演出）
- 第13回 地域デザイン6（音の環境デザイン）
- 第14回 地域デザイン7（ユニバーサルデザイン）
- 第15回 全体のまとめ

■**教科書**：授業時間に適宜指示します。

■**参考文献**：授業時間に適宜指示します。

■**成績評価基準と方法**：3分の1を超えて欠席すると単位が出ません。評価は出席20%、授業態度20%、小テスト・授業内レポート30%、課題・レポート30%により総合的に判断します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	○	◎	◎	授業内容に対する理解度	30
授業態度	◎	○	○	積極的な姿勢	20
発表					
課題・作品	○	◎	◎	課題提出物の充実度	30
出席	○	○	○	2/3以上の出席	20
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習I～Ⅲ（建築・環境）ほか

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：人間空間デザインは人々の生活や社会を、建築設計や地域づくりで豊かにしていくデザイン分野です。日頃から建築、生活空間、地域、都市、社会について高い関心を持つよう心がけて下さい。